この街から、Rethink（リシンク）して未来を変えていく。

街の課題を、考える。話し合う。

そこに住む方々、そこで働く方々、そしてそれを支える自治体の方々と一緒に。

それは、よりよい明日のために。

Rethinkフォーラムは、地域にゆかりのある方や、テーマにピッタリなゲストをお招きして、

地域社会の課題解決に向けたディスカッションをする場。

ちょっとだけ視点を変えてみることで、違った景色が見えてくるかもしれません。

この先も、この街が魅力的で活気にあふれるように。一緒に、Rethinkしませんか？

Rethink（リシンク）

視点を変えて考えること。

Rethink PROJECT

テーマ Rethink京都 ～文化の都・京都～

Rethink京都～文化の都・京都～（京都新聞主催、Rethink PROJECT協賛）が8月7日、京都市内で開かれました。歴史に裏付けられた伝統文化から最先端の文化までが共存する、多様性と寛容性のある京都の文化について、京都府知事の西脇隆俊さん、京都芸術センター副館長の山本麻友美さん、アートプロデューサーの山下有佳子さん、日本たばこ産業（JT）京都支社長の垂石英大さんがさまざまな視点で「Rethink」しながら語り合いました。

出演者

西脇隆俊さん
（京都府知事）
1955年京都市生まれ。79年建設省入省、2016年復興庁事務次官を経て、18年京都府知事に初当選し、現在2期目。

山本麻友美さん
（京都芸術センター副館長）
1972年奈良県生まれ。2000年の開館当初から、京都芸術センターにて国際共同プロジェクトや展覧会等、若手芸術家の育成、支援を目的とした多様な事業に携わる。

山下有佳子さん
（アートプロデューサー）
1988年、京都で茶道具商を営む家庭に生まれる。2022年より「Art Collaboration Kyoto」フェアディレクターを務め、京都市成長戦略推進アドバイザー（アート市場活性化担当）就任。

垂石英大さん
（日本たばこ産業株式会社京都支社長）
1979年大阪府生まれ。2011年日本たばこ産業株式会社入社。九州支社、大阪支社などを経て、25年から現職。

モデレーター

外池彰男
（京都新聞社取締役）
1967年京都市生まれ。90年京都新聞社入社。滋賀本社、洛西総局長、メディア局長などを経て2024年から現職。

テーマ1 人の営みが都市の魅力に

【外池】「文化の力」を活かした取り組みや成果について。

【西脇】京都の魅力の源泉は、千年以上受け継がれてきた文化が今の生活の中に生きているというところにあります。神社仏閣では、日々営みが行われておりますし、茶道や華道はまさに生活文化です。また、文化の範囲は広く、食も含まれますし、もちろん歌舞伎や能、狂言といった伝統芸能も日常生活の中で親しまれております。このように、京都の営みのベースに文化があると考えております。京都府は2024年7月に「文化が活きる京都の推進に関する条例」を施行しました。京都の営みのベースにある文化を活かして、あらゆる政策をさらに磨き上げていこうという気持ちを込めてまとめたものです。

【山本】京都芸術センターはギャラリーや制作室を備える文化施設で、昭和初期に建設された小学校をリノベーションして2000年にオープンしました。芸術ジャンルの融合だけではなく、芸術や学問、産業が交差する場になることを目指し、新しい結び付き方を模索しています。具体的にはセンターに「アート×ビジネス共創拠点：器（Innopo）」を設け、スタートアップ企業やソーシャルビジネス向けにオフィスとして貸し出したり、芸術関係者と企業の交流の場を提供したりしています。また、企業が持つ資材や素材をアーティストの制作活動に活用してもらう仕組みづくりも進めています。

【山下】実家は1847年から京都で茶道具商を経営しています。現在、私は京都の美意識を次世代につなぐというミッションを掲げ、さまざまなプロジェクトに関わっています。その一つとして、京都府などが主催する「Art Collaboration Kyoto（ACK）」のフェアディレクターを務めています。ACKは現代美術の作品発表や販売を行う国際的なアートフェアで、毎年11月に開催しています。また、茶道具店の隣でアーティストが滞在して制作活動を行う拠点、「Seishodo THE ROOM」を運営しており、滞在アーティストによる地元小学生向けのワークショップも開いています。

【垂石】すべての営みのベースに文化があるという知事の言葉は我々の事業にもつながると「Rethink」しました。JTグループでは「心の豊かさを、もっと。」をパーパスとして掲げており、文化という側面から京都という土地のブランドに貢献していくために、京都支社として何ができるかを考えていきたいです。

テーマ2 つながりを強めて世界へ

【外池】世界への文化発信について。

【西脇】世界の都市の中でも、京都で国際会議を開催すると参加者が多くなると言われております。また、本社を大阪などから東京へ移した企業は多くありますが、京都の企業にはその動きはあまりありません。国内だけをカバーするならば東京が便利ですし、ステータスもありますが、グローバル市場を狙う場合は京都の方が有利です。世界をマーケットにするという観点では、ACKのように京都を舞台にすることは、合理性があるのではと考えています。また、京都に文化庁があることによって、世界への発信力が全然違います。

【山本】京都市では、2024年から新たに「＊＊＊（アスタリスク）・イン・レジデンス」という事業に取り組んでいます。一定期間、京都に滞在しながら創作活動や交流を行う仕組みは「アーティスト・イン・レジデンス」と同じですが、芸術分野に限らず、建築や文学、工芸、料理、ビジネスなど、幅広い分野のクリエーターを対象にしているのが特徴です。短期的な成果を求めず、長い目で見守る懐の深さが京都にはあると思いますので、世界のクリエーターたちが滞在を機に地域とのつながりを深めることで、そこから新しい発想やこれまでにない仕組みなども生まれるのではないかと期待しています。

【山下】世界的な金融サービス企業が発表している世界のアート市場についての最新レポートによると、アジア圏では中国や韓国の市場縮小が見られるのに対し、唯一日本だけが成長しているそうです。最近、米国の大手メディアが相次いで日本のアートシーンについての特集記事を組むなど、世界から注目が集まっています。京都は世界の中でも圧倒的に文化発信力の強い都市であることは間違いありません。さらに、有望なアーティストやつくり手がたくさん活躍していますので、その層の厚さがアート市場をどんどん強くしている一因になっていると思います。

【垂石】世界に発信していく舞台としての京都で当社が寄与できることは、環境整備や環境美化での連携だと思います。国内外から多くの方が来られるため、玄関口である京都駅や飲食店を中心に、環境整備やステッカーなどでのマナー啓発を行っています。また、『ひろう』という体験を通じて、『すてない』気持ちを育てたいという願いから生まれた「ひろえば街が好きになる運動」を京都府民の皆さまと行うことで、環境美化意識へアプローチしています。

テーマ3 目の肥えた受け手も必要

【外池】文化を起点に、京都をよりよい街にするために何が必要で、何ができるか、お考えを聞かせてください。

【垂石】2024年に当社のJT生命誌研究館（大阪府高槻市）と京都府立植物園がパートナーシップ協定を結び、チョウの幼虫が食べる食草を植えた「食草園」を同植物園内に設置しました。文化を広義に捉え、今後も行政や地域の皆さまと一緒に進むべき道筋を探り、前進していけたらうれしいです。

【山本】今、当センターでは伝統芸能を短期集中で学ぶトレーニングのプログラムを実施していますが、国内外のプロのダンサーや役者に交じって、米国から未経験の高校生も参加しています。彼らが日本の文化を形だけではなく、さまざまな角度から体感し、お互いの理解を深めようとしている姿を見ると、大きな可能性を感じます。異なる価値観や視点に触れ、自分のものの見方が揺さぶられ、まさに新しい視点を獲得する「Rethink」が起こるような場面や取り組みを今後も増やしていければと考えています。

【山下】アートそのものが「Rethink」、新しい視座を私たちに与えてくれますし、文化・芸術には、コミュニティをはぐくんだり、人を集め、時には人を団結させたり、心を豊かにする力があると思います。まずは京都の文化をつくってきた人を守り、彼らが活躍できる環境を整備することが不可欠です。さらに世界から人材を受け入れ、京都ならではのつくり手たちとの連携や交流を進めることで、世界に視野を広げ、未来にもつなげていかなければなりません。そのために語学力やコミュニケーション能力を持ったグローバル人材を地域で育てることも重要でしょう。

【西脇】文化活動を盛り上げていくためにつくり手はもちろん大事ですが、観客というか、目の肥えた受け手が必要です。目利きがいなければ、つくり手もなかなかレベルアップしません。また、未来に向けては、文化だけではなく、魅力ある人材をどれだけ京都に呼び寄せることができるかも大事な要素です。京都は、大都市のわりには人と人との距離が近いことや、祇園祭をはじめとした伝統行催事を支える地域コミュニティがあります。それから、世界に冠たる最先端の技術を持っている企業もたくさんあり、伝統と革新が融合しているというのは京都の街の特徴でもあります。この強みは今後もずっと残していきたいですね。

Rethinkフォーラムホームページ https://rethink-pjt.jp/forum/index.html

※Rethink PROJECTはJTがパートナーシップを基盤に取り組む地域社会への貢献活動の総称です

Rethinkフォーラム　検索